

2008年1月18日

各位

薬剤部／薬品情報室（DI室）


DI・BOX#0276

「ゼローダ錠300」の結腸癌の適応追加について

抗悪性腫瘍剤「ゼローダ錠300」（中外）は、適応症に「結腸癌における術後補助化学療法」が追加されました。

また、「手術不能または再発乳癌」の用法用量についても、既承認の21日間連日投与／7日間休薬（A法）に加え、海外の用法用量である14日間連日投与／7日間休薬（B法）が追加されました。

A法とB法は投与スケジュールだけでなく、1回投与量も異なるため、処方の際には十分注意をしてください。

薬品名	ゼローダ錠300	
成分名・規格	（カペシタビン 300mg／錠）	
適応症 用法・用量	（1）手術不能または再発乳癌→ A法またはB法 （2） 結腸癌における術後補助化学療法→B法のみ	
採用区分	採用／共通（入院・院内・院外）	

*赤字が追加部分

（A法） 体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後30分以内に1日2回、21日間連日服用し、その後7日間休薬、これを1コースとして投与を繰り返す

体表面積	1回用量
1.31m ² 未満	900mg
1.31m ² 以上 1.64m ² 未満	1200mg
1.64m ² 以上	1500mg

（B法） 体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後30分以内に1日2回、14日間連日服用し、その後7日間休薬、これを1コースとして投与を繰り返す、患者の状態により適宜減量

体表面積	1回用量
1.33m ² 未満	1500mg
1.33m ² 以上 1.57m ² 未満	1800mg
1.57m ² 以上 1.81m ² 未満	2100mg
1.81m ² 以上	2400mg

* **B法はA法より手足症候群などにおいて軽度（Grade1、2）の副作用発現率が高くなっています。**B法の治療の際は副作用に注意してください。

なお、Grade3以上の副作用発現率は同程度と報告されています。

* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。